

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）

診療情報データベースを用いた带状疱疹の疫学等に関する研究

分担研究報告書

NDB サンプルングデータを用いた带状疱疹の疫学等に関する研究

研究分担者 白岩 健（国立保健医療科学院 主任研究官）

研究要旨

研究目的: 診療情報データベース（NDB (National DataBase) から医科レセプト及び DPC (Diagnosis Procedure Combination) レセプト) を用いて、带状疱疹に関する診療情報を分析し、現在の全国での疾病負荷を推計するとともに、带状疱疹の診療にかかる費用の全体像を把握し、以て定期接種導入の議論に必要な科学的知見を提供することを目的とした。

研究方法: 2012 年 1 月から 3 ヶ月ごと、2015 年 10 月までの 16 ヶ月分の NDB サンプルングデータ（入院外、DPC、入院外）を用いて、带状疱疹および带状疱疹後神経痛の患者数ならびに費用を算出した。病名については疑い病名を除き、診療開始日をもとに初診と判断した。

結果: 入院外データの分析においては、带状疱疹の受療患者数・新患者数ならびに带状疱疹後神経痛の受療患者数・新患者数は増加傾向にあることが確認された。带状疱疹外来患者数を年齢別に見ると、高齢の患者が多かった。入院外医療費は 1 ヶ月平均 2268.89 点(22688.9 円)であったが、带状疱疹の病名が付いた患者が同一月に他疾患の治療を受けた場合等の費用も含まれていることに留意する必要がある。なお、入院外レセプトに記載された点数であり、調剤レセプトが含まれていない。入院・DPC データの分析では、やはり高齢の患者が多かった。

まとめ:

NDB などレセプトを用いた解析では、病名の正確性などの課題はあるが、今回の分析では新たな大規模調査を実施することなく全国的な発生動向や疾病負担を一定程度明らかにすることができたことから、NDB を用いた疫学情報の分析の有用性が示されたものと考えられる。

A. 研究目的

今般、带状疱疹の発症予防を目的とした带状疱疹ワクチンが承認され、厚生科学審議会にお

いて、定期接種に位置付けることの是非に関する検討が開始された。過去に報告された様々な科学的知見を収集・整理したファクトシートに基づいた議論が行われたが、十分に把握されて

いない科学的知見等として、全国レベルでの疾病負荷が把握されていないこと、帯状疱疹の治療の現状や診療にかかる費用の現状が十分に明らかとなっていないこと、それらに基づく国内の状況を踏まえた定期接種導入により期待できる効果や費用対効果の推計がなされていないこと、が指摘された。

本研究では、診療情報データベース（NDB（National DataBase）から医科レセプト及びDPC（Diagnosis Procedure Combination）レセプト等）等を用いて、帯状疱疹に関する診療情報を分析し、現在の全国での疾病負荷を推計するとともに、帯状疱疹の診療にかかる費用の全体像を把握し、以て定期接種導入の議論に必要な科学的知見を提供することを目的とした。

B. 研究方法

2012年1月から3ヶ月ごと、2015年10月までの16ヶ月分のNDB サンプルングデータ（入院外、DPC、入院外）を用いて、帯状疱疹ならびに帯状疱疹後神経痛の患者数ならびに費用を算出した。病名については疑い病名を除き、診療開始日をもとに初診と判断した。

NDB サンプルングデータは入院とDPCについては10%抽出、入院外については1%抽出である。

帯状疱疹および帯状疱疹後神経痛の治療薬は表1・2の通りとし、帯状疱疹治療薬か帯状疱疹後神経痛治療薬か、また内服・注射・外用の別で、6グループに分けた。

神経ブロック治療は、L100 神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素使用）、L101 神経ブロック（神経破壊剤又は高周波凝固法使用）、L102 神経幹内注射、L103 カテラン硬膜外注射、L104 トリガーポイント注

射、L105 硬膜外ブロックにおける麻酔剤の持続的注入（1日につき）（チューブ挿入当日を除く。）を対象とした。

入院外データを用いた分析項目は以下の通りである。

1、毎月の帯状疱疹患者数、帯状疱疹新患数、帯状疱疹後神経痛患者数、帯状疱疹後神経痛新患数。以上について、2012年1月から2015年10月（16ヶ月分）の推移。

2、帯状疱疹患者における患者数、新患数、診療実日数平均値、合計点数平均値、対象薬剤点数平均値、対象薬剤出現患者数、そのほかの薬剤点数平均値、その他の薬剤出現患者数、L100-L105 点数平均値、L100-105 出現患者数。以上について、2012年1月から2015年10月の年齢階級別の平均値。

3、帯状疱疹後神経痛患者における患者数、新患数、診療実日数平均値、合計点数平均値、対象薬剤点数平均値、対象薬剤出現患者数、そのほかの薬剤点数平均値、その他の薬剤出現患者数、L100-L105 点数平均値、L100-105 出現患者数の以上について、2012年1月から2015年10月の年齢階級別の平均値。

4、帯状疱疹患者数、帯状疱疹新患数、帯状疱疹後神経痛患者数、帯状疱疹後神経痛新患数、対象薬剤出現患者数、対象薬剤点数合計、神経ブロック治療出現患者数、神経ブロック治療点数合計。以上について、2015年1月・4月・7月・10月の値。

入院・DPC データを用いた分析項目は以下の通りである。

1、帯状疱疹患者における患者数、新患数、入院日数平均値、診療実日数平均値、合計点数平均値、対象薬剤点数平均値、対象薬剤出現患者数、そのほかの薬剤点数平均値、その他の薬剤

出現患者数、L100-L105 点数平均値、L100-105 出現患者数。以上について、2012 年 1 月から 2015 年 10 月の年齢階級別の平均値。

2、帯状疱疹後神経痛患者における患者数、新患数、入院日数平均値、診療実日数平均値、合計点数平均値、対象薬剤点数平均値、対象薬剤出現患者数、そのほかの薬剤点数平均値、その他の薬剤出現患者数、L100-L105 点数平均値、L100-105 出現患者数。以上について、2012 年 1 月から 2015 年 10 月の年齢階級別の平均値。

3、帯状疱疹患者数、帯状疱疹新患数、帯状疱疹後神経痛患者数、帯状疱疹後神経痛新患数、対象薬剤出現患者数、対象薬剤点数合計、神経ブロック治療出現患者数、神経ブロック治療点数合計。以上について、2015 年 1 月・4 月・7 月・10 月の値。

C. 研究結果

毎月の帯状疱疹患者数、帯状疱疹新患数、帯状疱疹後神経痛患者数、帯状疱疹後神経痛新患数の推移を図 1 に示した。

入院外の帯状疱疹患者における患者数、新患数、診療実日数平均値、合計点数平均値、対象薬剤点数平均値、対象薬剤出現患者数、そのほかの薬剤点数平均値、その他の薬剤出現患者数、L100-L105 点数平均値、L100-105 出現患者数の、1 ヶ月あたりの平均値を表 3 に示した。

入院外の帯状疱疹後神経痛患者における患者数、新患数、診療実日数平均値、合計点数平均値、対象薬剤点数平均値、対象薬剤出現患者数、そのほかの薬剤点数平均値、その他の薬剤出現患者数、L100-L105 点数平均値、L100-105 出現患者数の、1 ヶ月あたりの平均値を表 4 に示した。

入院外の帯状疱疹患者数、帯状疱疹新患数、帯状疱疹後神経痛患者数、帯状疱疹後神経痛新患数、対象薬剤出現患者数、対象薬剤点数合計、神経ブロック治療出現患者数、神経ブロック治療点数合計の、2015 年 1 月・4 月・7 月・10 月の値を表 5 に示した。

入院の帯状疱疹患者における患者数、新患数、入院日数平均値、診療実日数平均値、合計点数平均値、対象薬剤点数平均値、対象薬剤出現患者数、そのほかの薬剤点数平均値、その他の薬剤出現患者数、L100-L105 点数平均値、L100-105 出現患者数の、1 ヶ月あたりの平均値を表 6 に示した。

入院の帯状疱疹後神経痛患者における患者数、新患数、入院日数平均値、診療実日数平均値、合計点数平均値、対象薬剤点数平均値、対象薬剤出現患者数、そのほかの薬剤点数平均値、その他の薬剤出現患者数、L100-L105 点数平均値、L100-105 出現患者数の、1 ヶ月あたりの平均値を表 7 に示した。

入院の帯状疱疹患者数、帯状疱疹新患数、帯状疱疹後神経痛患者数、帯状疱疹後神経痛新患数、対象薬剤出現患者数、対象薬剤点数合計、神経ブロック治療出現患者数、神経ブロック治療点数合計の、2015 年 1 月・4 月・7 月・10 月の値を表 8 に示した。

D. 考察

入院外データの分析においては、帯状疱疹の受療患者数・新患数ならびに帯状疱疹後神経痛の受療患者数・新患数は、季節変動とともに増加傾向にあることが確認された。帯状疱疹外来患者数を年齢別に見ると、75 歳以上が 1 ヶ月平均で 1249.88 人、70-75 歳未満が 449.50 人、

65-70 歳未満が 367.69 人と、高齢の患者が多かった。

入院外医療費の合計点数は平均 2268.89 点であったが、带状疱疹の病名が付いた患者が同一月に他疾患の治療を受けた場合の費用も含まれていることに留意する必要がある。なお、入院外レセプトに記載された点数であり、調剤レセプトが含まれていない。

入院外レセプトで带状疱疹の病名がついた患者のうち、带状疱疹治療薬または带状疱疹後神経痛治療薬が院内処方にて処方されている患者は 13.3% (3212.69 人中 425.69 人) であった。

入院外レセプトで带状疱疹後神経痛の病名がついた患者のうち、带状疱疹治療薬または带状疱疹後神経痛治療薬が院内処方にて処方されている患者は 13.0% (974.94 人中 126.75 人) であった。また、神経ブロック治療を受けている患者は 7.9% (974.94 人中 77.38 人) であった。

入院・DPC データの分析では、入院外と同様にやはり高齢の患者が多く、平均入院日数は带状疱疹で 150.34 日、带状疱疹後神経痛で 77.60 日と長かったが、この中には带状疱疹や带状疱疹後神経痛が入院の主たる原因ではない患者も含まれていると考えられる。

E. 結論

NBD などレセプトを用いた解析では、病名の正確性などの課題はあるが、今回の分析では新たな大規模調査を実施することなく全国的な発

生動向や疾病負担を一定程度明らかにすることができたことから、NDB を用いた疫学情報の分析の有用性が示されたものと考えられる。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表1 薬剤グループ1の対象医薬品名

グループNo	レセ電算コード	医薬品名称
01	610406386	ゾビラックス顆粒40%
01	610433006	アシロミン錠200 200mg
01	610443030	バルトレックス錠500 500mg
01	610453009	アシビル内服ゼリー200mg
01	610453010	アシビル内服ゼリー800mg
01	610453095	ビクロックス顆粒40%
01	610453096	ビクロックスシロップ8%
01	610461001	アシクロビル200mg錠
01	610462012	バルトレックス顆粒50%
01	610463007	アストリックドライシロップ80%
01	616250001	ゾビラックス錠400 400mg
01	616290163	ゾビラックス錠200 200mg
01	620003456	アシクロビル40%顆粒
01	620003457	アシクロビル400mg錠
01	620006802	ファミビル錠250mg
01	620009300	アシロミン錠400 400mg
01	621676401	アシクロビルDS80%「サワイ」
01	622266101	バラシクロビル錠500mg「CEO」
01	622268601	バラシクロビル錠500mg「サトウ」
01	622269301	バラシクロビル錠500mg「杏林」
01	622269901	バラシクロビル錠500mg「YD」
01	622271401	バラシクロビル錠500mg「日医工」
01	622271501	バラシクロビル顆粒50%「日医工」
01	622273001	バラシクロビル錠500mg「ファイザー」
01	622275501	バラシクロビル錠500mg「わかもと」
01	622276101	バラシクロビル錠500mg「アメル」
01	622276901	バラシクロビル錠500mg「KOG」
01	622277801	バラシクロビル錠500mg「オーハラ」
01	622281701	バラシクロビル顆粒50%「トーフ」
01	622281801	バラシクロビル錠500mg「トーフ」
01	622283301	バラシクロビル錠500mg「テバ」
01	622285501	バラシクロビル粒状錠500mg「モチダ」
01	622286101	バラシクロビル顆粒50%「明治」
01	622286501	バラシクロビル錠500mg「明治」
01	622286801	バラシクロビル錠500mg「DSEP」
01	622287401	バラシクロビル錠500mg「ケミファ」
01	622287801	バラシクロビル錠500mg「JG」
01	622291701	バラシクロビル錠500mg「EE」
01	622292601	バラシクロビル顆粒50%「MEEK」
01	622292701	バラシクロビル錠500mg「MEEK」
01	622293201	バラシクロビル錠500mg「三和」
01	622295101	バラシクロビル錠500mg「F」
01	622295201	バラシクロビル錠500mg「日本臓器」
01	622295901	バラシクロビル錠500mg「サワイ」
01	622297001	バラシクロビル錠500mg「NP」
01	622297701	バラシクロビル錠500mg「FFP」
01	622298701	バラシクロビル錠500mg「科研」
01	622301701	バラシクロビル錠500mg「PP」
01	622302701	バラシクロビル錠500mg「TCK」
01	622304301	バラシクロビル錠500mg「イワキ」
01	622304401	バラシクロビル錠500mg「ツルハラ」
01	622304501	バラシクロビル錠500mg「DK」

表2 薬剤グループ2・3・4・5・6の対象医薬品名

グループNo	レセ電算コード	医薬品名称
02	620003746	ゾピラックス点滴静注用250 250mg
02	620006283	ピクロックス点滴静注125mg
02	620006284	ピクロックス点滴静注250mg
02	621144401	ビダラビン点滴静注用300mg「F」
02	621144901	アシクロビル点滴静注用250mg「サワイ」
02	621384303	アシクロビル点滴静注液250mg「トーワ」
02	621384402	アシクロビル点滴静注用250mg「PP」
02	621384411	アシクロビル点滴静注用250mg「アイロム」
02	621384414	アシクロビル点滴静注用250mg「トーワ」
02	621384424	アシクロビル点滴静注用250mg「SN」
02	621660102	アシクロビル点滴静注液250mg/バッグ100mL「アイロム」
02	622325900	アシクロビル250mg注射液
03	620000360	エアナーズ軟膏5%
03	620002305	エアナーズクリーム5%
03	620003042	ゾピラックスクリーム5%
03	620006404	カサルクリーム3%
03	620006495	ビダラビン軟膏3%「MEEK」
03	620006496	ビダラビン軟膏3%「タイヨー」
03	620007574	アラエビン軟膏3%
03	620009008	シルベラン軟膏3%
03	621146502	ビダラビン軟膏3%「SW」
03	621146601	ビダラビン軟膏3%「トーワ」
03	621146701	ビダラビン軟膏3%「F」
03	621354901	ビダラビン軟膏3%「イワキ」
03	621447501	アシクロビル軟膏5%「トーワ」
03	621447603	アシクロビル軟膏5%「テバ」
03	621995901	ビダラビン軟膏3%「JG」
03	660444023	シルベラン軟膏 3%
03	660453038	ビルヘキササルクリーム5%
03	666250002	ゾピラックス軟膏5%
04	621983701	リリカカプセル25mg
04	621983801	リリカカプセル75mg
04	621983901	リリカカプセル150mg
05	620007022	ノイロトロピン錠4単位
06	620004716	ノイロトロピン注射液1. 2単位 1mL
06	620004717	ノイロトロピン注射液3. 6単位 3mL
06	640412048	ナプトピン注 3mL

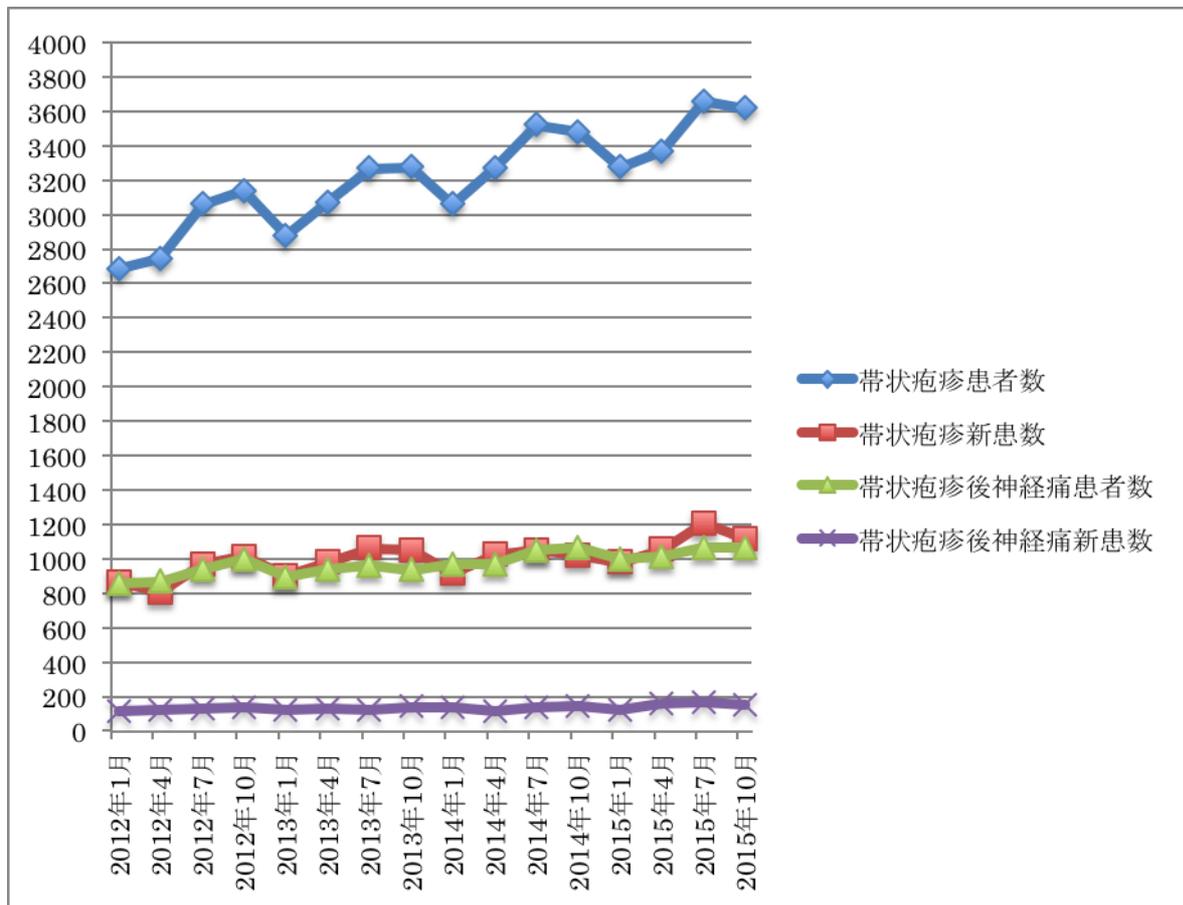


図1 带状疱疹患者数および带状疱疹後神経痛の患者数の推移（入院外レセプト1%抽出）

表3 入院外データを用いた帯状疱疹患者の年齢階級別の集計結果

(2012年1月から2015年10月までの16ヶ月分の平均値、入院外レセプト1%抽出)

項目名	すべて	0歳～10歳未満	10歳～20歳未満	20歳～30歳未満	30歳～40歳未満	40歳～50歳未満	50歳～55歳未満	55歳～60歳未満	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
患者数	3212.69	44.38	65.81	83.56	158.31	205.44	128.88	173.88	285.38	367.69	449.50	1249.88
新患数	1004.75	33.56	47.13	53.38	90.63	96.81	55.31	67.75	98.00	109.25	111.56	241.38
診療実日数平均値	2.34	2.00	1.79	1.82	1.87	1.94	2.07	2.05	2.27	2.31	2.50	2.57
合計点数平均値	2268.89	1012.55	1261.16	1529.43	1651.80	1931.69	2234.83	2244.46	2548.07	2596.82	2669.36	2252.92
対象薬剤点数平均値	856.34	417.72	909.76	1049.45	1052.51	1051.78	1098.49	1004.38	973.96	979.11	831.43	684.13
対象薬剤出現患者数	425.69	5.31	11.88	13.06	25.19	27.00	17.50	23.19	36.06	49.13	58.00	159.38
その他の薬剤点数平均値	1813.74	452.40	566.73	1125.46	1341.50	1806.29	2079.80	2050.26	2398.60	2440.36	2319.38	1466.54
その他の薬剤出現患者数	1318.81	16.06	27.06	30.94	63.00	76.13	49.81	67.13	116.44	149.13	191.81	531.31
L100-L105点数平均値	975.11	0	233.75	308.13	585.73	651.83	1093.61	859.91	1001.34	1194.83	1051.93	921.51
L100-L105出現患者数	119.50	0	0.13	0.50	1.63	4.31	2.88	3.31	7.88	11.69	19.56	67.63

表4 入院外データを用いた帯状疱疹後神経痛患者の年齢階級別の集計結果

(2012年1月から2015年10月までの16ヶ月分の平均値、入院外レセプト1%抽出)

項目名	すべて	0歳～10歳未満	10歳～20歳未満	20歳～30歳未満	30歳～40歳未満	40歳～50歳未満	50歳～55歳未満	55歳～60歳未満	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
患者数	974.94	0.50	2.50	7.13	19.63	36.31	27.63	36.88	74.00	104.31	159.56	506.50
新患者数	116.88	0.38	1.25	3.06	6.44	8.25	6.06	7.13	11.00	15.50	18.56	39.25
診療実日数平均値	2.26	0.56	2.11	2.15	1.82	2.02	2.05	2.07	2.10	2.12	2.38	2.34
合計点数平均値	2029.26	306.44	1326.43	1696.69	1493.12	2046.73	1891.44	2472.39	2161.79	2181.21	2238.44	1914.69
対象薬剤点数平均値	601.04	114.69	457.19	461.52	741.19	797.52	686.23	771.87	554.52	712.19	621.17	527.91
対象薬剤出現患者数	126.75	0.06	0.44	0.94	2.19	4.00	3.25	4.31	8.69	13.56	19.06	70.25
その他の薬剤点数平均値	1442.49	0	188.10	1348.96	1239.54	1921.98	1500.82	2291.03	2042.71	1942.58	1794.27	1071.50
その他の薬剤出現患者数	383.56	0	0.88	2.44	6.44	12.13	9.88	12.69	27.38	39.81	63.06	208.88
L100-L105点数平均値	983.87	0	0	108.75	497.66	752.23	571.21	866.56	771.69	1129.17	1032.35	956.18
L100-L105出現患者数	77.38	0	0	0.19	0.81	2.69	1.75	1.69	5.00	7.44	13.13	44.69

表5 直近1年の入院外データ（4ヶ月分）の集計結果

（入院外レセプト1%抽出）

	2015年1月	2015年4月	2015年7月	2015年10月
帯状疱疹患者数	3,278	3,372	3,662	3,620
帯状疱疹新患数	984	1,058	1,211	1,122
帯状疱疹後神経痛患者数	999	1,012	1,066	1,066
帯状疱疹後神経痛新患数	106	136	145	133
対象薬剤出現患者数	447	423	443	495
対象薬剤点数合計	364,375	325,084	344,025	402,994
神経ブロック治療出現患者数	126	106	104	119
神経ブロック治療点数合計	134,690	97,670	81,660	86,720

表6 入院・DPC データを用いた帯状疱疹患者の年齢階級別の集計結果

(2012年1月から2015年10月までの16ヶ月分の平均値、入院外.DPC レセプト10%抽出)

項目名	すべて	0歳～10歳 未満	10歳～20 歳未満	20歳～30 歳未満	30歳～40 歳未満	40歳～50 歳未満	50歳～55 歳未満	55歳～60 歳未満	60歳～65 歳未満	65歳～70 歳未満	70歳～75 歳未満	75歳以上
患者数	1456.00	11.00	17.50	22.56	41.69	58.75	40.38	57.25	102.25	139.75	170.81	794.06
新患数	375.19	2.50	4.13	6.13	10.69	13.88	9.69	14.19	22.38	33.06	39.88	218.69
入院日数 平均値	150.34	127.14	136.10	174.21	234.67	238.33	234.41	224.69	247.25	153.50	128.94	125.82
診療日数 平均値	18.09	19.42	16.55	15.58	14.83	17.17	17.61	17.38	16.80	17.21	16.72	19.13
対象薬剤 点数平均 値	1643.92	2245.95	2595.17	2353.24	2229.41	1866.54	1580.42	1630.32	1635.16	1564.90	1640.83	1535.66
対象薬剤 出現患者 数	635.31	5.56	9.69	12.31	22.06	30.13	21.44	30.69	52.44	69.44	79.75	301.81
その他の 薬剤点数 平均値	19014.62	40212.19	35922.97	35783.39	31845.35	41167.45	31640.70	35814.38	30823.77	24380.38	17779.55	10187.41
その他の 薬剤出現 患者数	1284.38	10.88	17.25	21.94	40.94	56.81	38.69	55.06	97.38	127.88	156.13	661.44
L100-L105 点数平均 値	1501.47	0	193.75	230.00	556.88	1545.00	882.40	773.75	1458.07	1492.14	1579.63	1383.51
L100-L105 出現患者 数	34.81	0	0.19	0.19	0.44	1.50	1.06	0.81	2.13	3.38	5.00	20.13

表7 入院・DPC データを用いた帯状疱疹後神経痛患者の年齢階級別の集計結果

(2012年1月から2015年10月までの16ヶ月分の平均値、入院外.DPC レセプト10%抽出)

項目名	すべて	0歳～10歳未満	10歳～20歳未満	20歳～30歳未満	30歳～40歳未満	40歳～50歳未満	50歳～55歳未満	55歳～60歳未満	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
患者数	258.25	0.06	0.88	1.44	4.00	7.38	4.81	7.94	14.94	22.44	31.81	162.56
新患者数	34.44	0.00	0.19	0.13	0.56	0.50	0.50	1.25	2.31	3.31	4.69	21.00
入院日数平均値	77.60	17.00	46.44	130.66	40.68	47.88	35.76	62.62	211.45	72.43	59.49	72.78
診療実日数平均値	16.90	0.75	13.56	10.56	11.22	13.39	12.66	14.93	15.24	15.72	15.37	17.97
対象薬剤点数平均値	1066.42	9.06	1579.25	1420.72	1705.02	1526.07	884.29	1370.63	1469.09	1133.68	1039.61	886.81
対象薬剤出現患者数	127.75	0.06	0.44	1.00	2.63	4.69	3.19	5.19	9.50	13.25	17.44	70.38
その他の薬剤点数平均値	12416.02	4052.44	24342.72	9534.84	14978.43	16061.44	21173.79	20899.07	19963.92	18383.57	14641.85	8753.82
その他の薬剤出現患者数	227.56	0.06	0.81	1.44	3.94	7.06	4.69	7.63	14.31	20.56	29.25	137.81
L100-L105点数平均値	1764.81	0	0	123.75	242.50	1185.63	224.06	333.13	1529.27	1425.00	1580.79	1567.19
L100-L105出現患者数	18.13	0	0	0.08	0.19	0.56	0.31	0.38	1.58	1.89	2.81	10.58

表8 直近1年の入院外データ（4ヶ月分）の集計結果

（入院・DPC レセプト 10%抽出）

	2015年1月	2015年4月	2015年7月	2015年10月
帯状疱疹患者数	1,369	1,532	1,585	1,503
帯状疱疹新患数	351	391	394	372
帯状疱疹後神経痛患者数	238	265	276	252
帯状疱疹後神経痛新患数	43	26	38	36
対象薬剤出現患者数	569	681	698	649
対象薬剤点数合計	786,367	908,965	1,086,573	902,624
神経ブロック治療出現患者数	25	39	40	30
神経ブロック治療点数合計	38,360	85,390	71,880	38,040